

協会記事

平成15年4月25日(金)、旭川市グランドホテルにおいて、第39回通常総会を開催し、平成14年度事業報告および決算報告、平成15年度事業計画および予算案、理事の選任について審議し、いずれも可決承認された。

平成14年度事業報告および決算報告

I 平成14年度事業報告

1 会員の動向

年度当初329名であった会員数が、年度末286名となり、43名の減となった。

2 諸会議

平成14年4月19日第38回通常総会、平成15年2月20日第1回理事会、平成15年4月25日第2回理事会を開催した。

3 出版事業

機関誌「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を584号から595号まで12号発行した。

4 講演会等

(1)講演会

つぎの講演会を開催した。

1)期日 平成14年4月19日

会場 ニュー北海ホテル

演題 「間伐材・オガ屑を使ったトイレで資源化」

講師 正和電工株式会社 代表取締役 橘井敏弘 氏

2)期日 平成14年7月31日

会場 道北地域旭川地場産業振興センター

演題 「100才まで暮らす家づくり」 -新築とりホームのノウハウ-

講師 西代企画設計 主宰 西代明子 氏

演題 「木材はなぜ腐るの」

講師 北海道立林産試験場 耐朽性能科長 佐藤真由美 氏

(2)講習会

平成14年9月5・6日、木材乾燥講習会を開催した。

5 受託事業

(1)北海道立林産試験場より、「木と暮らしの情報館における展示品維持管理業務」「木と暮らしの情報館展示製品募集業務」「木と暮らしの情報館製品展示企画設置業務」を受託した。

(2)社団法人北海道林産物検査会より、「保存処理構造用製材等の吸収量分析試験」を受託した。

(3)財団法人日本住宅・木材技術センターより、「木造建築物用接合金物認定事業に係る規格金物試験」を受託した。

6 普及事業

平成14年7月27日から8月18日まで、「木のグランドフェア」を開催した。

7 会員企業支援事業

申込なし

8 各種講演会等への講演，協賛

つぎのとおり後援，協賛した。

(1)後援

2003木製サッシフォーラム～フェンスタターク イン 北海道 2003～

(2)協賛

第16回北の生活産業デザインコンペティション

9 協会創立50周年記念事業

準備委員会を設立し，事業内容，規模等を検討した。平成15年度において，つぎの事業を実施する。

(1)記念式典・祝賀会の開催

(2)記念コンパクトディスク(CD)の製作

(3)記念講演会・シンポジウムの開催

II 平成14年度収支決算 (単位 円)

収入の部		支出の部	
会費収入	5,623,225	公益事業費	4,452,460
公益事業収入	1,133,359	受託事業費	6,434,138
受託事業収入	11,533,395	公益事業管理費	9,631,880
基本財産運用収入	3,536	特定預金支出	18,000,000
特定預金取崩収入	10,900,000		
雑収入	1,197,748		
前期繰越金	17,395,670	次期繰越金	9,268,455
計	47,786,933	計	47,786,933

平成15年度事業計画および予算

I 平成15年度事業計画

1 諸会議

平成15年4月25日，第39回通常総会を開催する。

2 出版事業

機関誌「ウッドイエージ(木材の研究と普及)」を第596号から第607号まで12号を毎月発行する。

3 講演会，講習会の開催

木材接着講習会を開催する。

4 受託事業

つぎの事業を受託する。

(1)林産試験場「木と暮らしの情報館」における展示品維持管理業務

(2)林産試験場「木と暮らしの情報館」展示製品募集業務

(3)林産試験場「木と暮らしの情報館」製品展示企画設置業務

(4)保存処理構造用製材等の薬剤吸収量分析試験((社)北海道林産物検査会)

5 普及事業

木のグランドフェアを林産試験場と共催する。

6 各種講演会、研究会、大会等への後援および協賛

北海道、北海道立林産試験場または各種団体が実施する事業で、当協会運営の趣旨に合致する事業に後援または協賛する。

7 当協会創立50周年事業

つぎの事業を実施する。

(1)記念式典・祝賀会

平成15年4月25日、旭川グランドホテル

(2)記念CD作成

会員に配布する。

(3)木を暮らしに活かすフォーラム(仮称)

平成15年8月6日、旭川市民文化会館小ホール

講師 パトリック・ムーア博士(カナダ在住)

8 会員企業支援事業

(1)会員企業の要望により、林産試験場職員が企業に赴き技術指導をする場合の旅費の一部を補助する。

(2)会員企業が林産試験場に依頼試験を依頼する場合の手数料の一部を補助する。

いずれの場合も、1万円までは協会負担とし、1万円を超える額については企業負担とする。

9 技術アドバイザー派遣事業

林産試験場の退職者を林産技術普及協会のアドバイザーとして委嘱し、企業の要望に応じて、技術指導等に派遣する。

費用のうち、1万円までは協会の負担とし、1万円を超える額については企業負担とする。

II 平成15年度収支予算 (単位 円)

収入の部		支出の部	
会費収入	4,845,000	公益事業費	5,595,000
公益事業収入	730,000	受託事業費	8,400,000
受託事業収入	9,541,000	50周年記念事業費	6,000,000
基本財産運用収入	5,000	公益事業管理費	6,600,000
特定預金取崩収入	3,400,000	特定預金支出	500,000
雑収入	1,195,000	予備費	2,000,000
前期繰越金	9,268,455	次期繰越金	5,889,455
計	28,984,455	計	28,984,455

役員改選

平成15・16年度の役員が以下の通り選任されました。

社団法人 北海道林産技術普及協会

平成15～16年度 役員名簿

顧問	三津橋 貞 夫	北海道木材協会会長
"	清水 晴 夫	北海道森林組合連合会代表理事会長
"	宮 島 寛	元北海道大学教授
"	齋 藤 勝 次	北海道立林産試験場場長
会長	高 橋 秀 樹	昭和木材(株)代表取締役社長
副会長	秋 元 紀 幸	東北北海道木材協会副会長
"	高 原 郷	北日本木材(株)代表取締役社長
専務理事	伊 藤 勝 彦	(社)北海道林産技術普及協会
常任理事	相 田 嗣 郎	相田木材(株)代表取締役社長
"	麻 生 繁	麻生木材工業(株)代表取締役社長
"	桑 原 義 彦	匠工芸(株)代表取締役社長
理事	伊 藤 茂 喜	東邦木材工業(株)代表取締役社長
"	井 波 信 夫	(株)中原建築設計事務所代表取締役社長
"	上 坂 勝 司	上坂木材(株)代表取締役社長
"	久 保 武 司	久保木工(株)代表取締役社長
"	小 林 寿 男	当麻町森林組合代表理事組合長
"	鈴 木 隆	(社)北海道林産物検査会副理事長兼専務理事
"	高 井 平 三	北海道集成材工業会会長
"	辰 巳 忠 雄	辰巳建設(株)代表取締役社長
"	和 田 修	サンモク工業(株)代表取締役社長
監 事	野 田 正 宣	(株)コーエキ代表取締役社長
"	山 岸 宏 一	北海道東海大学教育開発研究センター主任教授

シンポジウム開催案内

テーマ 「木材利用と地球環境を考える」

木材は、再生可能な資源です。生育途中の樹木は二酸化炭素を吸収するので、地球温暖化の防止に大きな期待がかけられています。

21世紀は「持続可能な社会の構築」が人類に課せられた大きな課題と言われております。そのためには、森林づくりと木材の利用が大きな鍵と言われております。

この度、地球環境を悪化させないためには「樹をもっと植えよ、そしてもっと木を使おう」と主張されている、カナダ在住の環境コンサルタント、グリーンスピリッツ代表パトリック・ムーア博士をお招きし、基調講演をいただき、博士の講演を主題にパネルディスカッションを企画しました。

会員の皆様にはぜひご参加下さいますようご案内いたします。

日 時	平成15年8月6日(水) 13時～17時
会 場	旭川市民文化会館 小ホール
主 催	北海道立林産試験場, (社)北海道林産技術普及協会
対 象	一般道民
参 加 料	無料

開催内容

12:30～	開場
13:00～13:10	開会の挨拶・講師紹介 高 橋 秀 樹 (社)北海道林産技術普及協会会長
13:10～14:50	講演会(通訳付き) パトリック・ムーア博士 (グリーンスピリッツ代表)
15:00～16:50	パネルディスカッション(開場からの質疑対応を含む) コーディネータ 石 井 寛 氏 (北海道大学大学院農学研究科教授) パネリスト パトリック・ムーア 氏 早 坂 尚 美 氏 (ネットワーク旭川地球村事務局) 寺 島 一 男 氏 (大雪と石狩の自然を守る会代表) 長 原 實 氏 (社)全国家具工業連合会会長 高 原 郷 氏 (旭川地方森林整備事業協同組合理事長) 丸 山 武 氏 (北海道立林産試験場副場長)
16:50～17:00	閉会の挨拶・謝辞 齋 藤 勝 次 (北海道立林産試験場場長) 司会 伊藤 勝彦 (北海道林産技術普及協会専務理事)

社団法人 北海道林産技術普及協会では

下記の技術資料を頒布していますのでご利用下さい。

●価格はいずれも実費（ ）は送料

●テクニカルノート

- | | | | |
|------------------------------|-----|-----|--------------|
| ●No.1 木材乾燥(基礎編改訂版) | A5版 | 63頁 | 1,000円(200円) |
| ●No.2 帯鋸盤における挽曲がり診断の手引き(コピー) | A4版 | 29頁 | 580円(200円) |
| ●No.3 廃材堆肥の作り方(コピー) | A4版 | 63頁 | 1,260円(390円) |
| ●No.4 木材乾燥(実務編改訂版) | A5版 | 86頁 | 1,500円(200円) |
| ●No.5 わかりやすいキノコの栽培法 | A5版 | 29頁 | 300円(140円) |

●叢書

- | | | | |
|----------------------|-----|-----|--------------|
| ●製材技術入門(昭和30年版)(コピー) | A4版 | 67頁 | 1,340円(390円) |
| ●帯鋸の目立(昭和35年版)(コピー) | A4版 | 73頁 | 1,460円(390円) |
| ●樹皮の利用(昭和37年版)(コピー) | A4版 | 60頁 | 1,200円(390円) |
| ●酸素・アセチレンガスによる鋸加工技術 | A5版 | 71頁 | 500円(200円) |

●手引書

- | | | | |
|---|-----|-----|--------------|
| ●農林水産用PT型ハウス設計標準仕様書(改訂版)(コピー) | B4版 | 54頁 | 1,080円(390円) |
| ●カラマツ材を使った牛舎建設の手引き | B5版 | 79頁 | 2,000円(240円) |
| ●これからの木材乾燥講習会テキスト(昭和60年版)(コピー) | B4版 | 27頁 | 540円(240円) |
| ● ^{あげくら} 北海校倉ハウス(ログハウス) | B5版 | 56頁 | 800円(200円) |
| ●現地実務者の手引書 トドマツ造林木
ー良い木・良い木材の育て方使い方ー(昭和61年版) | B5版 | 86頁 | 2,000円(240円) |
| ●「新技術・装置」に関する木材乾燥講習会テキスト(平成2年版)(コピー) | B4版 | 29頁 | 580円(240円) |
| ●木工ハンドブック | A5版 | 49頁 | 500円(160円) |

※実費についてはコピー代20円

平成14年3月現在